
変詩 3

HEERO

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

変詩3

【Nコード】

N9682G

【作者名】

HERO

【あらすじ】

先日強盗に押し入れられ、家族を人質に取られたのでやむを得ず書いた変詩シリーズの第3段！！今までの変詩よりも少しだけ不快で深い出来上がり！！

（前書き）

後書きに、本当はやるべきでない解説的な文が載せられてますが、あれは自分自身が何を思っで書いたのかを忘れないための備忘録みたいなものです；

いつか読み返してみたときに、「何これ意味わかんねー俺馬鹿じゃん」みたいな状況になったら悲しいので…。

変詩1【落ちた幸せ】

ほんの少しの油断から落つことしてしまった私の幸せ

もう生きる意味が分らない

いや そもそも生きることに意味などあるのだろうか？

無意味な生 人はその現実を受け入れたくないのだ

だから生きる意味などという不確かなものを見出だそうとする

自分をごまかし 洗脳するため 人はあるゆる事物を麻薬に変える

この世界で笑ってられる人間は皆中毒者 正気を失っているのだ

私を病んでいると 周りは言うかもしれない

でも本当にそうだろうか？

私は我に返っただけ

おかしいのは脳天気生きてられる周りの方だ

たまたま多数派優位な世の中だが 本来蔑まれるのは私の方ではない

大衆はこのことを念頭に置いた上で……

「ただいまー！ ショートケーキ買ってきたわよー！」

突然母が帰ってきた
しかもショートケーキを持って

私は涙を拭い 床に落ちていたチーズケーキを拾い上げた

地獄で仏とはこのことだ

心を光で満たされた私

満面の笑みを浮かべて母の元へと駆けてゆく

「ひゃっほーい！ 私の人生ケーキがありゃそれでいいのよーん！」

変詩2 【憂負負負！】 ウッフッフ

不幸はドミノのように畳み掛けてくる
犬に追い掛けられ 躓いて鼻を折ってしまった女性
彼女は痛みに加え 多額の治療費を払うはめとなる

不幸はドミノのように畳み掛けてくる
イボ痔になってしまった男性
彼はその苦痛に加え 想いを寄せている女性にそのことを知られて
しまう

不幸はドミノのように畳み掛けてくる
突如落下してきた隕石

人々はその恐怖に加え 隕石の正体が異星人の宇宙船だという事実
に絶望を抱く

どれもこれも恐ろしい
考えたくもないことばかりだ

でも一度落ち着いて
そして思い出してみよう

悪いことばかりは続かない
マイナスは時にプラスへと変わることだってある

犬に追われ鼻を折ってしまった女性
実は犬には富豪の飼い主がおり 女性は多額の治療費をもらって前
よりも高くて綺麗な鼻を手に入れた

想いを寄せている女性にイボ痔知られてしまった男性
実は女性は極度のイボ痔フェチで 男性は熱い逆告白を受けてしま
った

隕石の正体が異星人の宇宙船だという事実
に絶望を抱く人々
実は異星人がやってきた目的は地球人と友好を結ぶことで 地球人
は異星人から与えられた超技術によりさらに文明を発展させること
となる

…え？ こんなに都合よくいくはずない？

大丈夫 きつと上手くいくさ
悪いことばかりじゃないから

…え？ イボ痔フェチの女に告られるのはむしろ不幸？

そついうこと言わない！

変詩3 【異常な食卓】

ヒヤッホオオウ！！！！
メシの時間だ！！

純白の米共を前に 俺は箸を構える

だがその時 不意に妙な音がりだした
咄嗟に俺は顔を右に向ける

な…何んだと！？

姉貴が米共にマヨネーズをぶっかけてやがる！！
なんて女だ！！ 正気の沙汰とは思えねえ！！

すると今度は反対側から妙な音がりだした
俺は顔を左に向ける

な…何んだと!?

兄貴が米共に砕いたポテチふりかけてやがる!!
なんて男だ!! 常軌を逸してやがる!!

チクショーめが!! 俺の兄弟は変態ばっかだ!!
まあいい 俺は優雅かつ上品に米共を食してやるぜえ!!

俺はご飯にあんこを乗せた

（後書き）

変詩1

『人は些細なことで幸せと絶望を行き来する』とか『取り戻す事の出来ない幸せに縋るのではなくまた新しい幸せを見つければいい』
みたいな…？

床と接触した部分以外なら食べれるのに。

変詩2

嫌なことがあつて気分が沈んだ状態になると、その後起こる身の回りの出来事までマイナスにとらえちゃったり…。負を連鎖させてるのはネガティブな自分自身の心なのかもしれんね。人生いいことばかりは続かないけど、悪いことばかりも続かないものですか。ていうかイボ痔フェチだと分かったら、むしろこっちからお断りじやい！

変詩3

基本、人は自分を基準に物事を判断しますよね。そしてその基準はみんな少しずつ違う気がする。結局、誰もが異常で、誰もが正常なんじゃないかな〜とか思ってみたり。そう考えると他人を馬鹿にしたりなんてできないし、自分が人と違ってたって気にする必要もない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9682g/>

変詩 3

2011年10月3日19時58分発行